

2018年7月期 決算説明会

Company Presentation

2018年 9月

TORIKIZOKU_∞

株式会社 鳥貴族
(証券コード：3193)

2018年7月期

TORIKIZOKU_∞

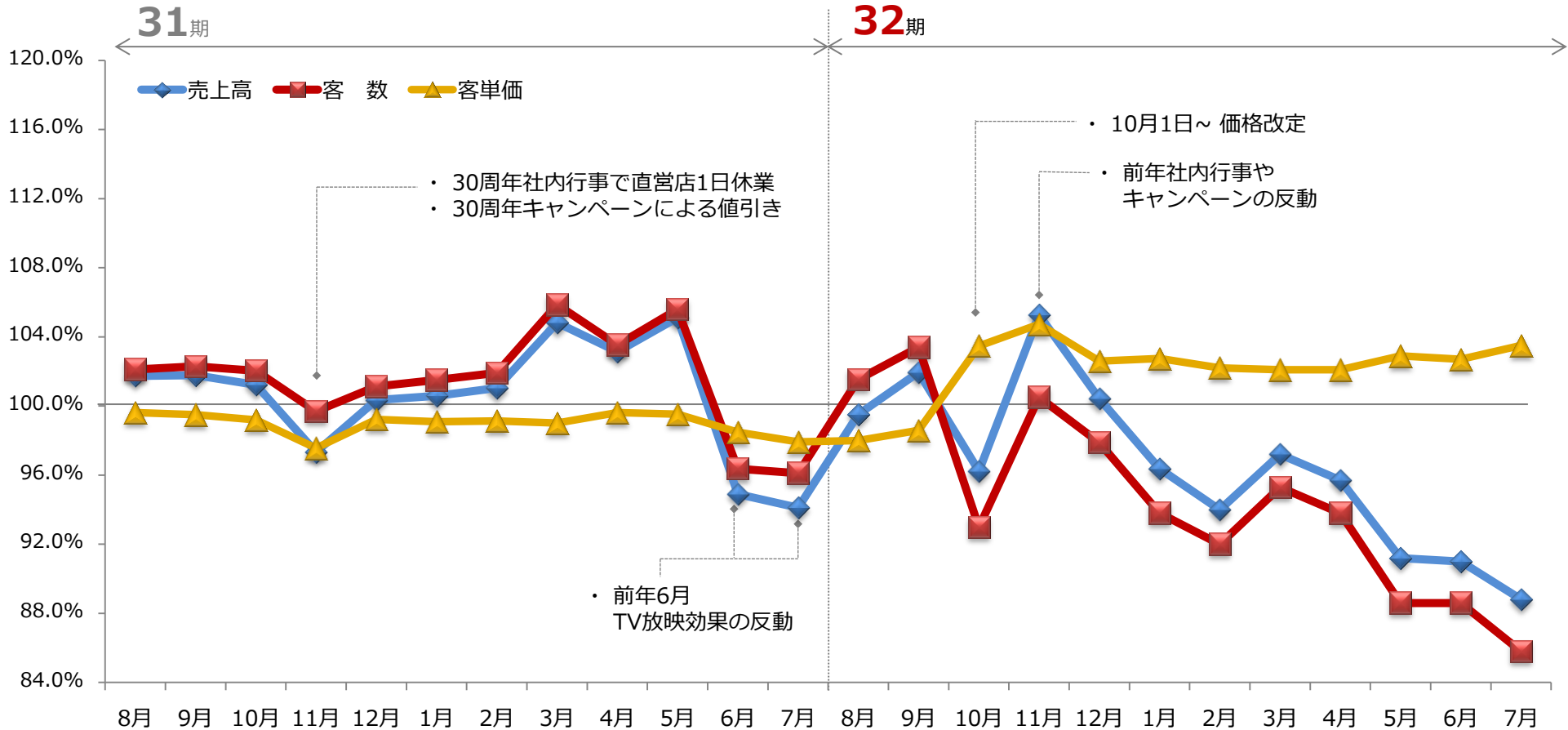


業績ハイライト（前期比）



(単位：百万円)	2017年7月期 通期実績 (売上比)	2018年7月期		主な増減要因	
		通期実績 (売上比)	前期比		
			%		金額
売上高	29,336	33,978	115.8	+4,641	売上高 ・ 直営店新規出店 85店舗 ・ 前期新規出店店舗（58店舗）の寄与
売上総利益	19,932 (67.9%)	23,673 (69.7%)	118.8	+3,740	売上総利益 ・ 2017年10月からの価格改定による 利益率向上の寄与
販売費及び 一般管理費	18,475 (63.0%)	21,991 (64.7%)	119.0	+3,515	販売費及び一般管理費 ・ 直営店増加による経費の増加 (人件費、採用費、減価償却費、地代 家賃、水道光熱費等)
営業利益	1,457 (5.0%)	1,681 (5.0%)	115.4	+224	
経常利益	1,426 (4.9%)	1,613 (4.7%)	113.1	+187	
当期純利益	967 (3.3%)	662 (1.9%)	68.4	△305	特別損失 ・ 不採算店舗に関する減損損失

既存店売上高前年比推移

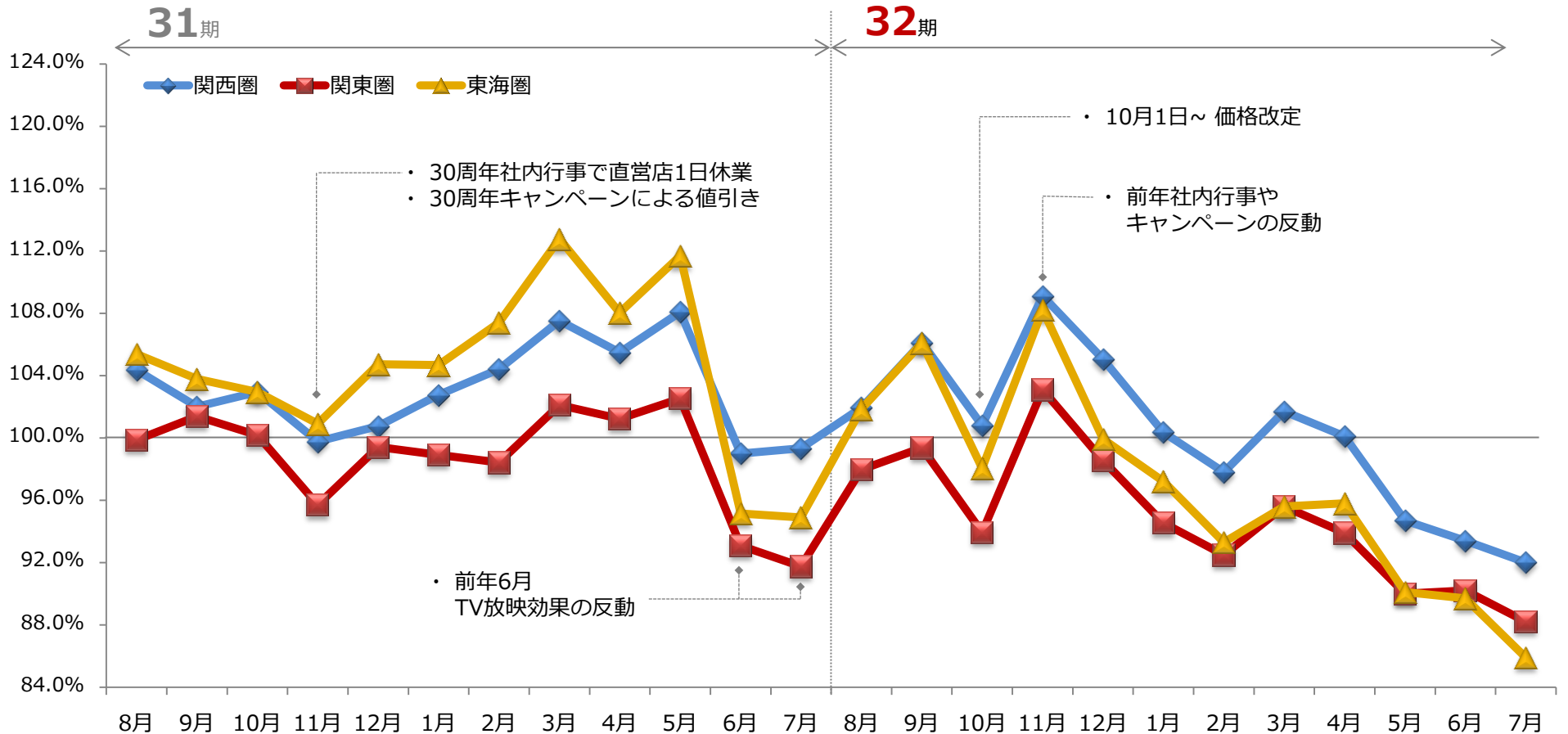


※このページにおける既存店とは、新規開店した月を除き、12ヶ月以上経過した店舗としております。

(単位：%)

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	32期
売上高	101.7	101.8	101.2	97.3	100.4	100.6	101.0	104.8	103.1	105.1	94.9	94.1	99.5	101.9	96.2	105.3	100.4	96.4	94.0	97.2	95.7	91.2	91.0	88.8	96.3
客数	102.1	102.3	102.0	99.7	101.1	101.5	101.9	105.9	103.5	105.6	96.4	96.1	101.5	103.4	93.0	100.5	97.9	93.8	92.0	95.3	93.8	88.6	88.6	85.8	94.3
客単価	99.6	99.5	99.2	97.6	99.2	99.1	99.1	99.0	99.6	99.5	98.5	97.9	98.0	98.6	103.5	104.7	102.6	102.8	102.2	102.1	102.1	102.9	102.7	103.5	102.1

既存店売上高前年比推移（エリア別）



※このページにおける既存店とは、新規開店した月を除き、12ヶ月以上経過した店舗としております。

(単位：%)

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	32期
関西圏	104.4	102.0	102.9	99.8	100.8	102.8	104.4	107.5	105.5	108.1	99.0	99.3	101.9	106.1	100.8	109.1	105.1	100.4	97.8	101.7	100.1	94.7	93.4	92.0	100.1
関東圏	99.0	101.4	100.2	95.7	99.4	98.9	98.4	102.1	101.2	102.5	93.1	91.8	98.0	99.4	93.9	103.1	98.5	94.5	92.5	95.6	93.9	90.0	90.2	88.2	94.6
東海圏	105.4	103.8	102.9	100.9	104.7	104.7	107.4	112.8	108.0	111.7	95.2	94.9	101.8	106.1	98.1	108.2	99.9	97.2	93.3	95.6	95.8	90.1	89.7	85.9	96.4

新規出店の状況

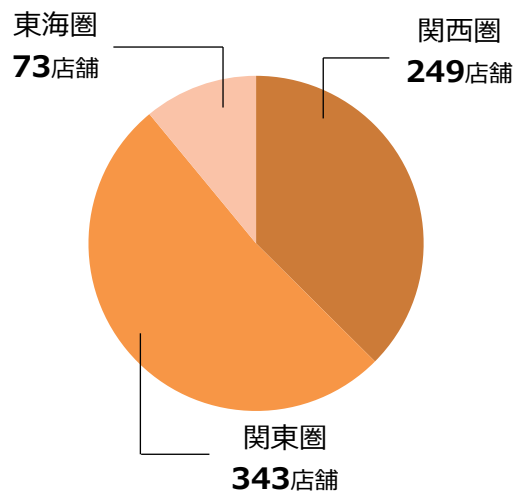


➤ 第32期は直営店81店舗、TCC店17店舗、合計98店舗の純増

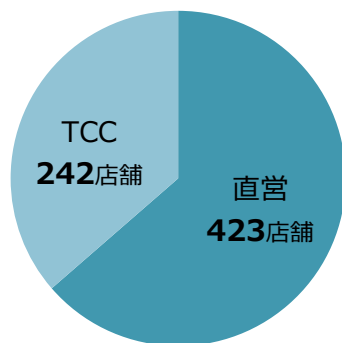


<2018年7月末時点店舗数>

【エリア別】



【運営形態別】



(単位：店舗)

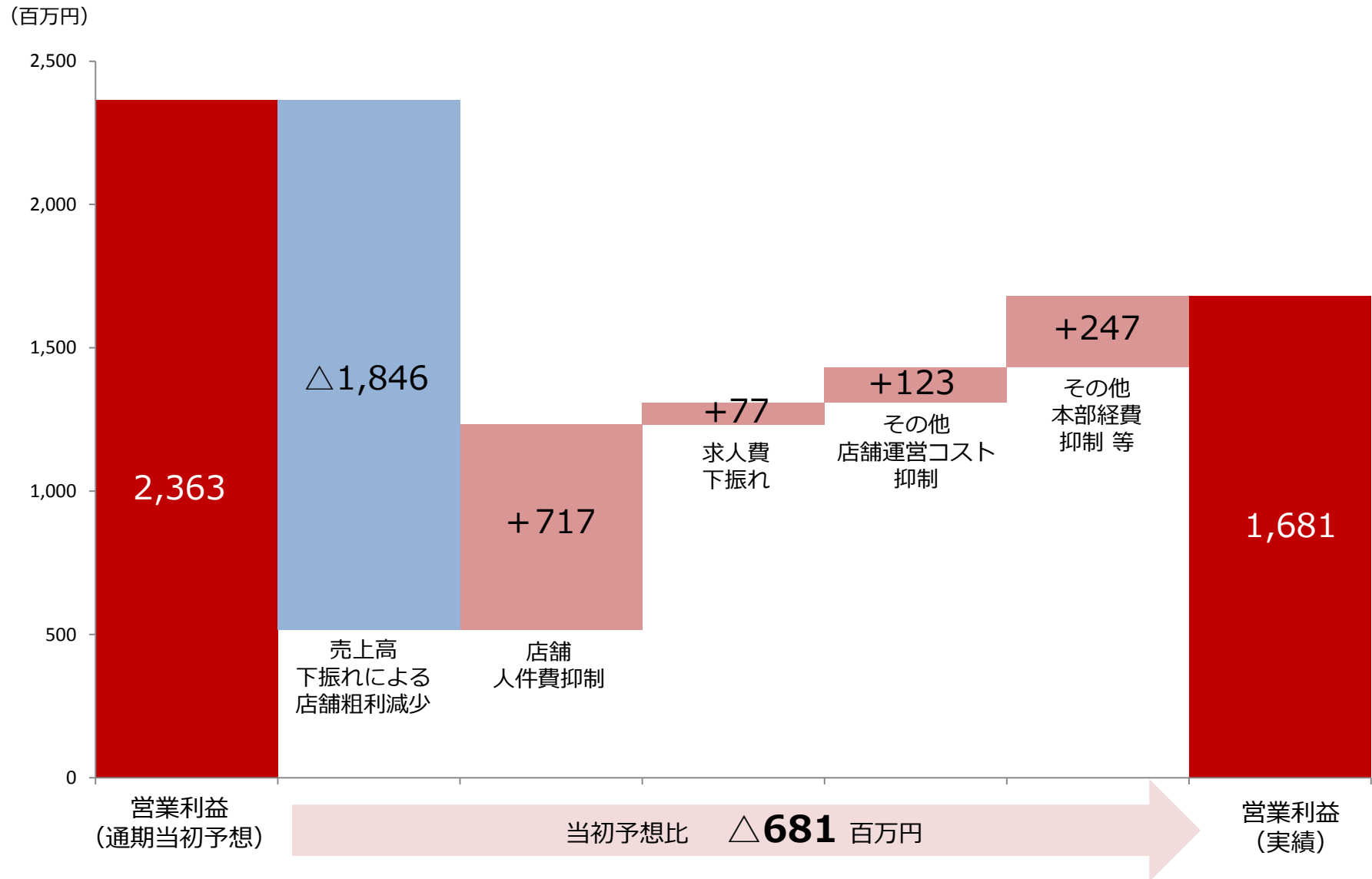
		17年7月末 店舗数	第33期（累計）			18年7月末 店舗数
			出店	独立	退店	
直営	関西	87	8	-	-	95
	関東	204	54	-1	-2	255
	東海	51	23	-	-1	73
	小計	342	85	-1	-3	423
TCC	関西	151	5	-	-2	154
	関東	74	14	1	-1	88
	東海	0	-	-	-	0
	小計	225	19	1	-3	242
合計		567	104	0	-6	665

業績ハイライト (予想比)



(単位：百万円)	2018年7月期							主な増減要因 (対当初予想比)
	当初予想 (売上比)	修正予想 (売上比)	通期実績 (売上比)	当初予想比		修正予想比		
				%	金額	%	金額	
売上高	36,939	33,957	33,978	92.0	△2,961	100.1	+20	売上高 ・既存店売上高の減少
営業利益	2,363 (6.4%)	1,507 (4.4%)	1,681 (5.0%)	71.2	△681	111.6	+174	営業利益 ・既存店売上高の減少に伴う 利益額の減少
経常利益	2,281 (6.2%)	1,437 (4.2%)	1,613 (4.7%)	70.7	△668	112.2	+175	当期純利益 ・既存店売上高の減少に伴う 利益額の減少 ・不採算店舗に関する減損損失
当期純利益	1,339 (3.6%)	589 (1.7%)	662 (1.9%)	49.4	△677	112.3	+72	

業績ハイライト (当初予想比)



貸借対照表



(単位：百万円)	2017年 7月期末	2018年 7月期末	増減	主な増減内容
資産の部				
流動資産	6,069	5,890	△178	出店に伴う設備投資等による現預金の減少
固定資産	9,873	12,898	+3,025	店舗数増加による建物、リース資産、差入保証金の増加
資産合計	15,942	18,789	+2,847	
負債の部				
流動負債	5,897	7,493	+1,595	店舗数増加による営業債務の増加
固定負債	3,710	4,393	+682	長期借入金の借入、店舗数増加に伴う長期リース債務、資産除去債務の増加
負債合計	9,608	11,886	+2,278	
純資産の部				
純資産合計	6,333	6,902	+569	当期純利益の計上

自己資本比率	39.7%	36.7%	△3.0pt
ROE	16.3%	10.0%	△6.3pt

キャッシュ・フローの状況



(単位：百万円)	2017年7月期	2018年7月期
営業キャッシュ・フロー (a)	3,000	3,306
税引前当期純利益	1,448	1,121
減価償却費	1,093	1,387
減損損失	56	505
固定資産売却益	△12	△14
未払金の増減額	221	337
その他	193	△31
投資キャッシュ・フロー (b)	△2,394	△3,460
有形固定資産の取得による支出	△1,986	△3,228
差入保証金の差入による支出	△246	△265
その他	△161	33
財務キャッシュ・フロー	480	△87
フリーキャッシュ・フロー (a)+(b)	606	△154
現金及び現金同等物の期末残高	4,735	4,494

中期経営計画 進捗状況

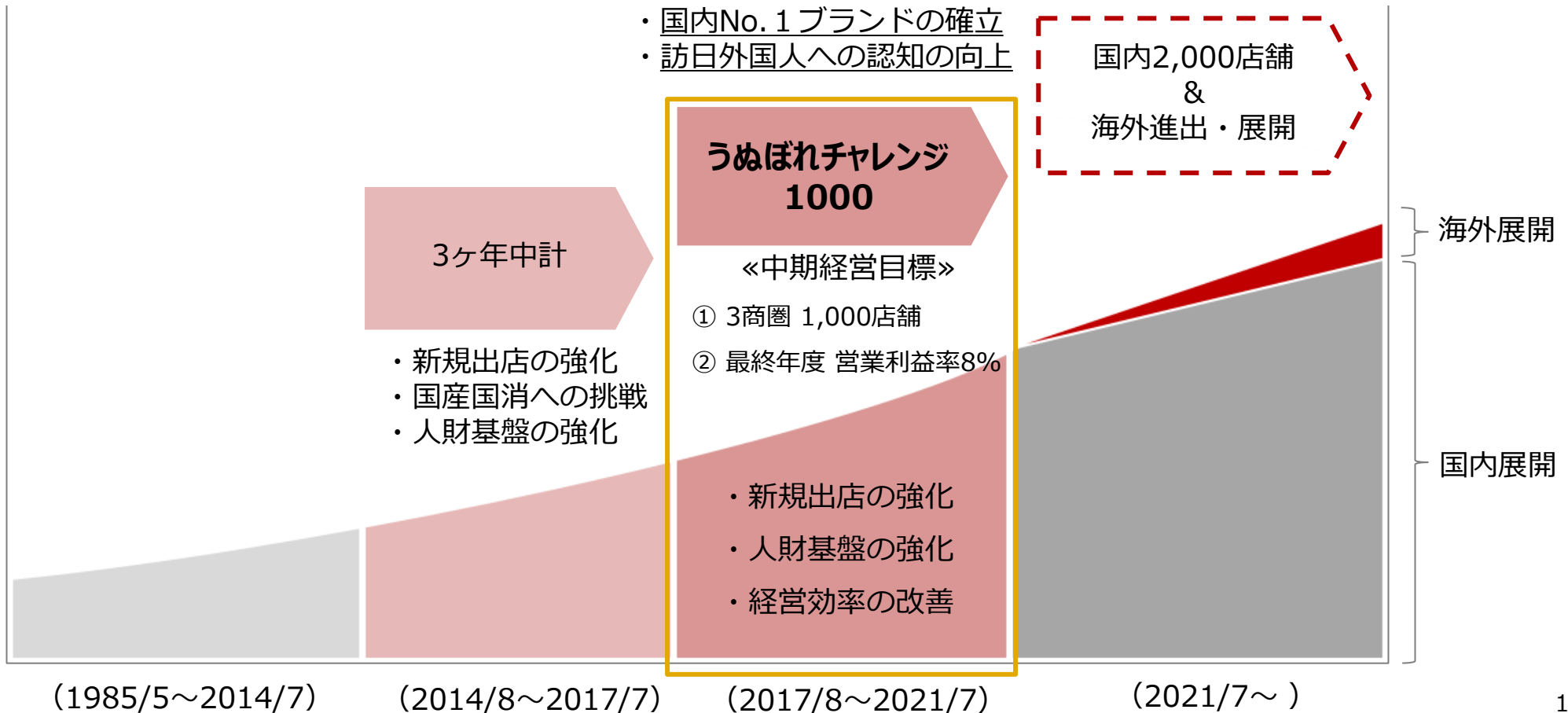
TORIKIZOKU_∞



中期経営計画 “うぬぼれチャレンジ1000”



- 長期ビジョン「国内2,000店舗体制 & 海外進出・展開」へ向け、国内での盤石な「鳥貴族」ブランド確立と海外進出へ向けた知名度の向上を目指し、新中期経営計画 “うぬぼれチャレンジ1000” を策定



中期経営計画 “うめぼれチャレンジ1000”



【経営方針】

「鳥貴族」単一業態によるチェーン展開



中期経営目標
(2021年7月期末時点)

3商圈 1,000店舗

営業利益率 8%



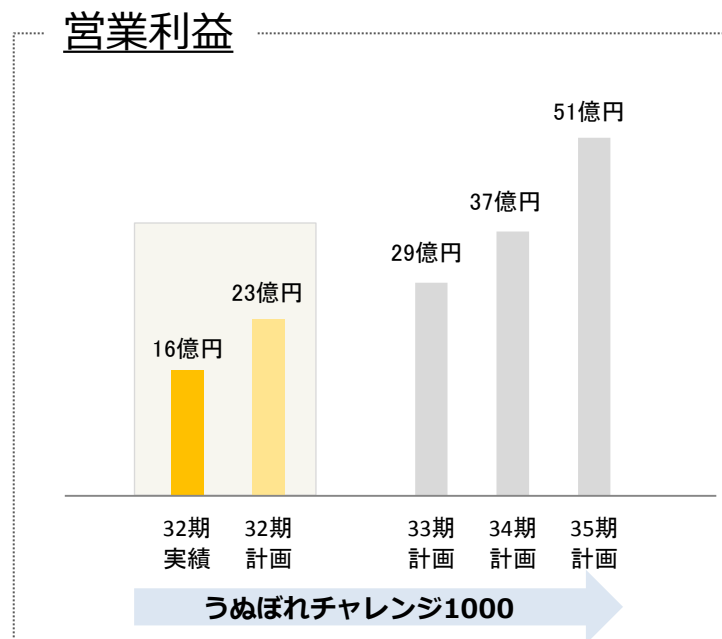
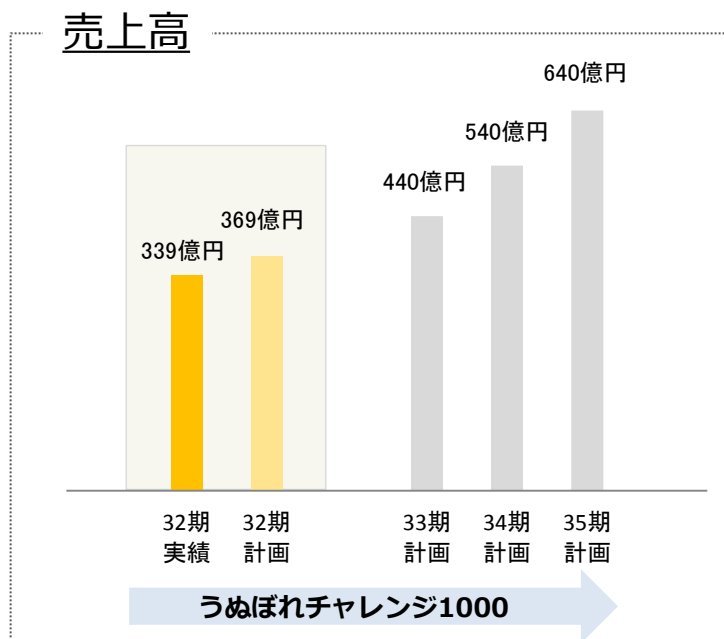
【重要施策】

- ✓ 新規出店の強化
- ✓ 人財基盤の強化
- ✓ 経営効率の改善

中期経営計画 進捗状況



- 中期経営計画初年度においては売上高、利益共に計画を下回って着地
- 初年度の着地を踏まえ、中期経営計画については既存店売上高の動向等を勘案しながら改めて精査



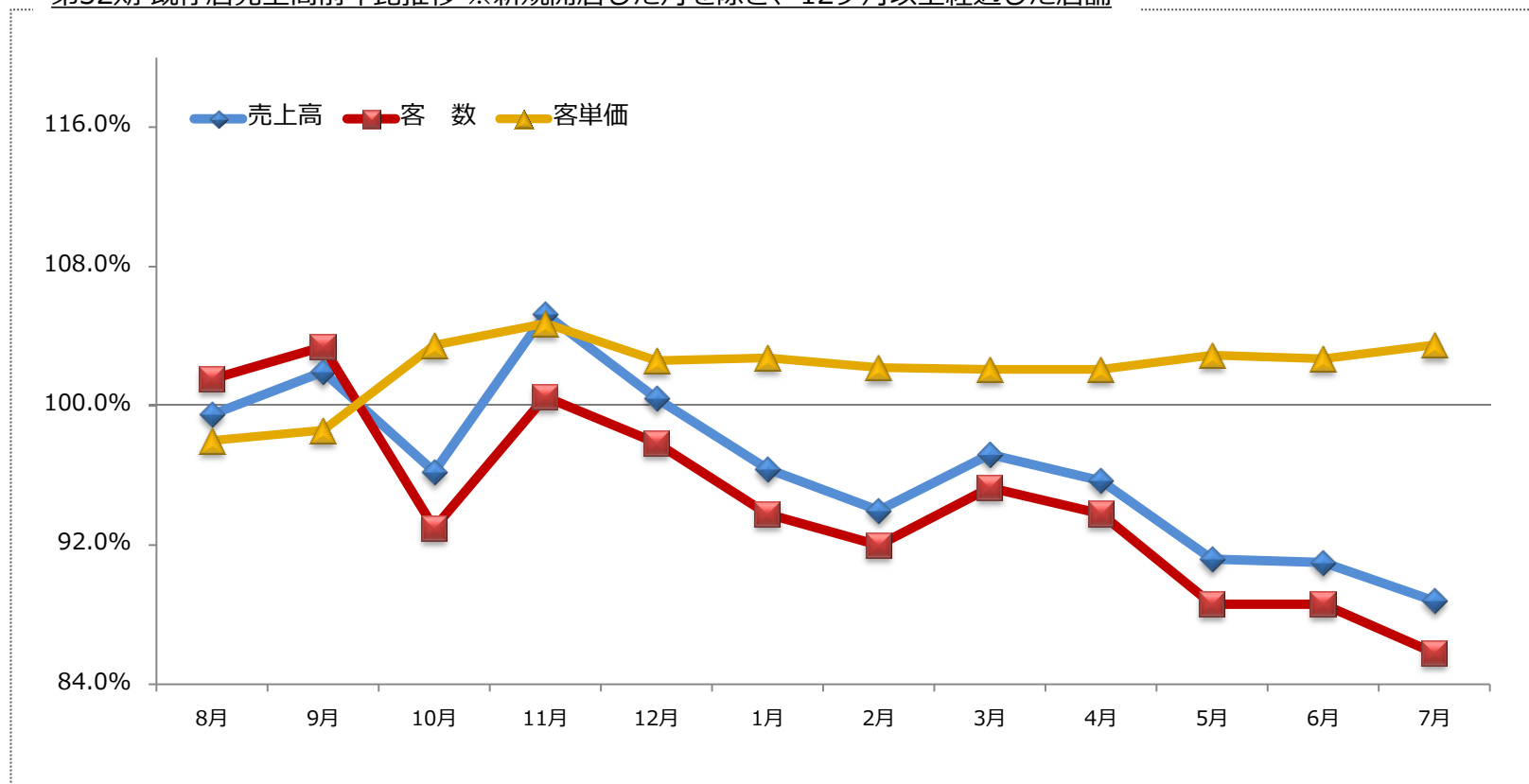
	2018年7月期 実績	中計初年度 計画	差異
売上高	339億円	369億円	△29億円
営業利益	16億円	23億円	△6.8億円
営業利益率	5.0%	6.4%	△1.4pt

既存店売上高



- 価格改定や出店攻勢に伴う自社競合、競争激化、天候の影響等が影響し、第32期の売上高は想定を下回って推移、計画未達に至った

第32期 既存店売上高前年比推移 ※新規開店した月を除き、12ヶ月以上経過した店舗



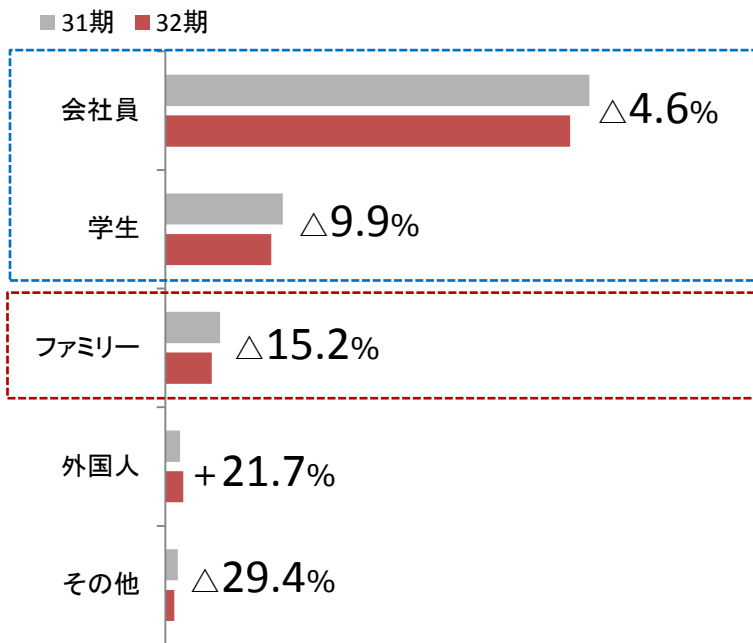
既存店売上高（客層別動向）



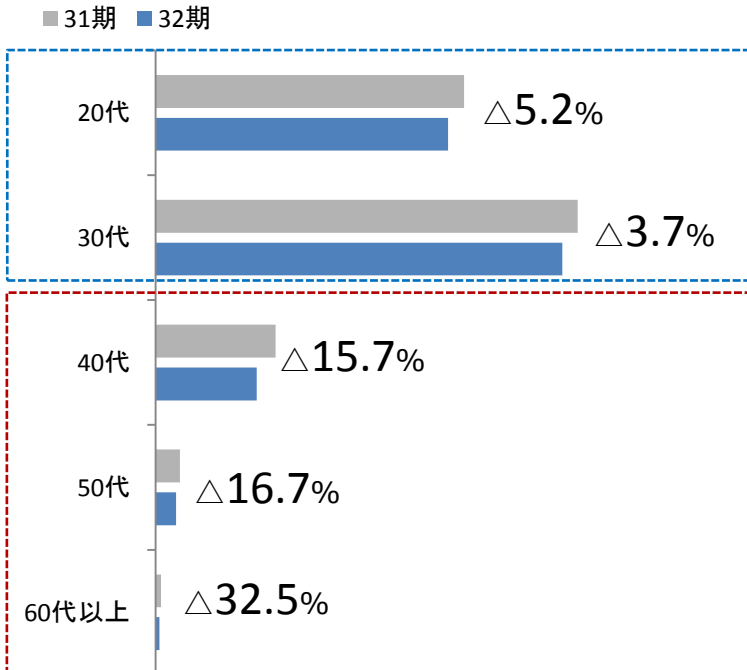
- 第32期の下期は全体として客数が下落トレンドにあり、コアターゲット層（20～30代の会社員・学生）においても下期は減少が見られた
- 一方で、減少率が大きい客層はファミリーや40代以上のお客様となっており、上期の傾向が下期においても継続

第32期（通期）客層別前期比較 ※2016年7月時点の店舗を比較（棒グラフ：各期の客数、%：前年比増減率）

【既存店客数前期比（属性別）】



【既存店客数前期比（年齢別）】

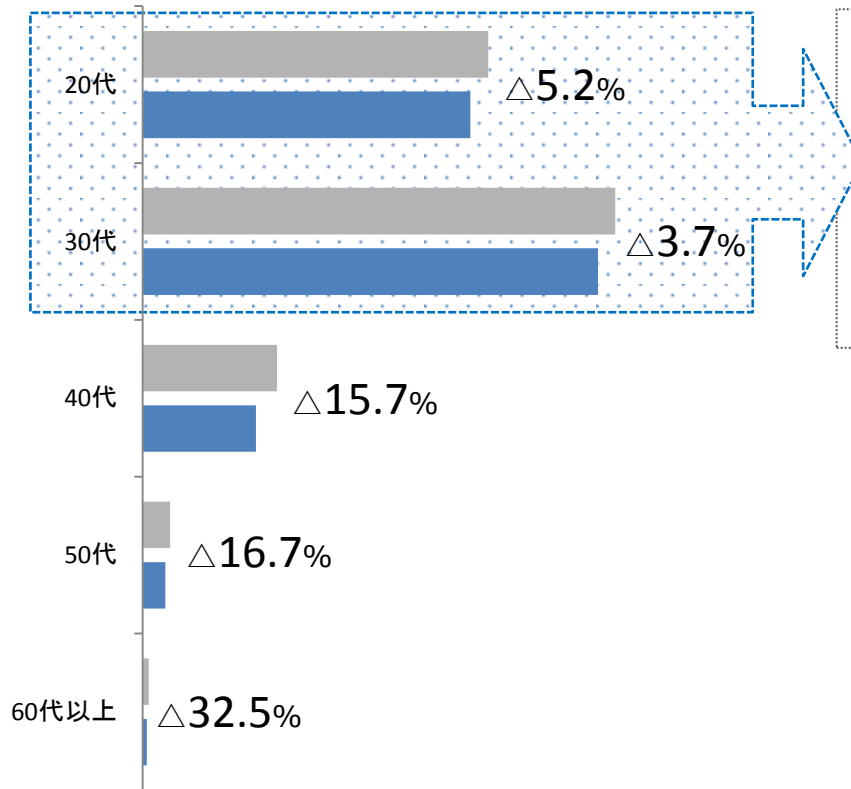


コアターゲット層調査・分析



- ▶ 下期においてコアターゲット層の客数減少が見られたため、コアターゲット層の回復余地の把握を目的に鳥貴族の認知度や利用実態に関するWEB統計調査を実施

■ 31期 ■ 32期



WEB統計調査の概要

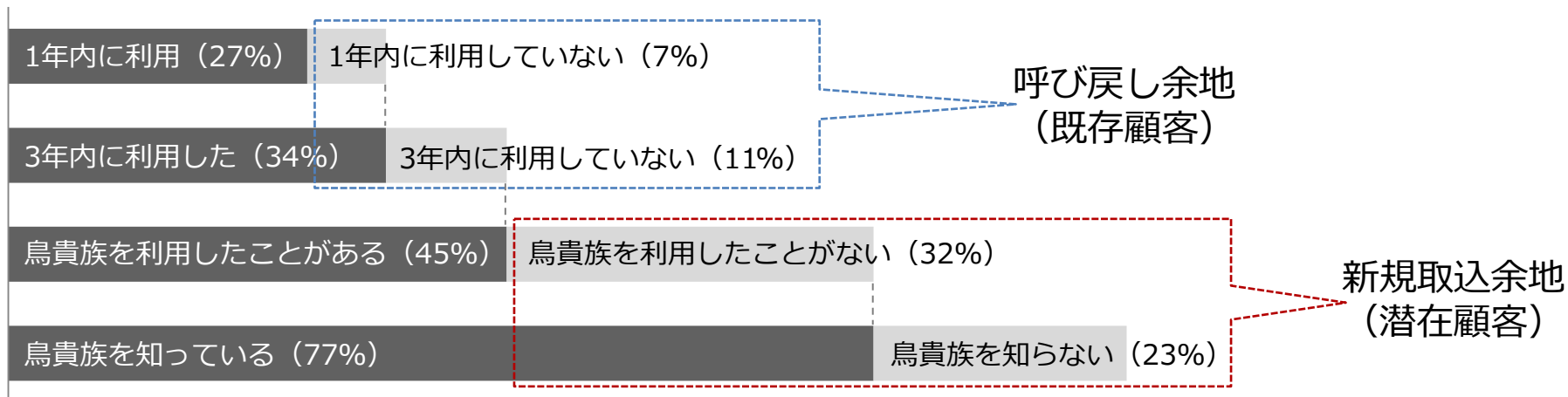
- インターネットを通じて、鳥貴族の利用実態について調査
- 対象者の属性 20～30代 男女
- 対象エリア 関西、関東、東海の3商圈
- サンプル数 20,000サンプル

コアターゲット層調査・分析



WEB統計調査の概要

- インターネットを通じて、鳥貴族の利用実態について調査
- 対象者の属性 20~30代 男女
- 対象エリア 関西、関東、東海の3商圈
- サンプル数 20,000サンプル



※ %は調査サンプル数20,000に対する割合

「鳥貴族を知っているが利用したことのない方」や「鳥貴族を知らない方」といった潜在顧客が多数存在することを把握

⇒ 既存店の回復へ向けては、「過去利用していた方」の呼び戻しだけでなく、**潜在顧客の新規取り込み**が最重要課題

第33期 基本方針及び取り組み



第33期 基本方針

新規出店を一時取りやめ、既存店の回復に注力する

第33期 取り組み

- QSCの向上
 - 鳥貴族QSC改善プロセスの徹底（店舗単位でのPDCA）
 - 店舗における再現力向上（調理技術、接客等の教育）
 - 新たな感動メニューの開発
- 継続した正社員の採用と育成
- 労働環境改善のための店舗改装
 - 店舗の労働環境改善のための改修等



市場調査等も活用しながら、既存顧客や潜在顧客に対して訴求を強化

既存店の回復・整理

業績予想



業績予想の前提

- 新規出店 直営店15店舗、TCC店26店舗
- 既存店売上高 前期比97%（上期94%、下期100%）
- 人件費率は前期並みを計画
- 店舗の労働環境改善のための改修等の投資 100百万円
- 不振店の退店や減損損失の可能性を想定し、特別損失として400百万円を織り込む

（単位：百万円）

	2018年7月期 通期実績 (売上比)	2019年7月期		
		通期予想 (売上比)	前期比	
			%	金額
売上高	33,978	37,950	111.7	3,972
営業利益	1,681 (5.0%)	1,744 (4.6%)	103.7	62
経常利益	1,613 (4.7%)	1,645 (4.3%)	102.0	32
当期純利益	662 (1.9%)	747 (2.0%)	112.9	85
1株当たり 当期純利益	57円15銭	64円51銭		

配当予想及び株主優待



➤ 株主還元基本方針

成長戦略への内部留保を優先するが、安定的かつ継続的な配当を実施

	2017年7月期 (実績)		2018年7月期 (実績)		2019年7月期 (予想)	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末
配当性向	9.6%		14.0%		12.4%	
一株当たり配当金	4円	4円	4円	4円	4円	4円

➤ 株主優待制度

ご所有株式数	株主優待
100株～299株	年間2,000円相当のお食事ご優待券 (中間と期末にそれぞれ1,000円相当を送付)
300株～499株	年間6,000円相当のお食事ご優待券 (中間と期末にそれぞれ3,000円相当を送付)
500株以上	年間10,000円相当のお食事ご優待券 (中間と期末にそれぞれ5,000円相当を送付)



参考資料

TORIKIZOKU_∞



(参考) 会社概要



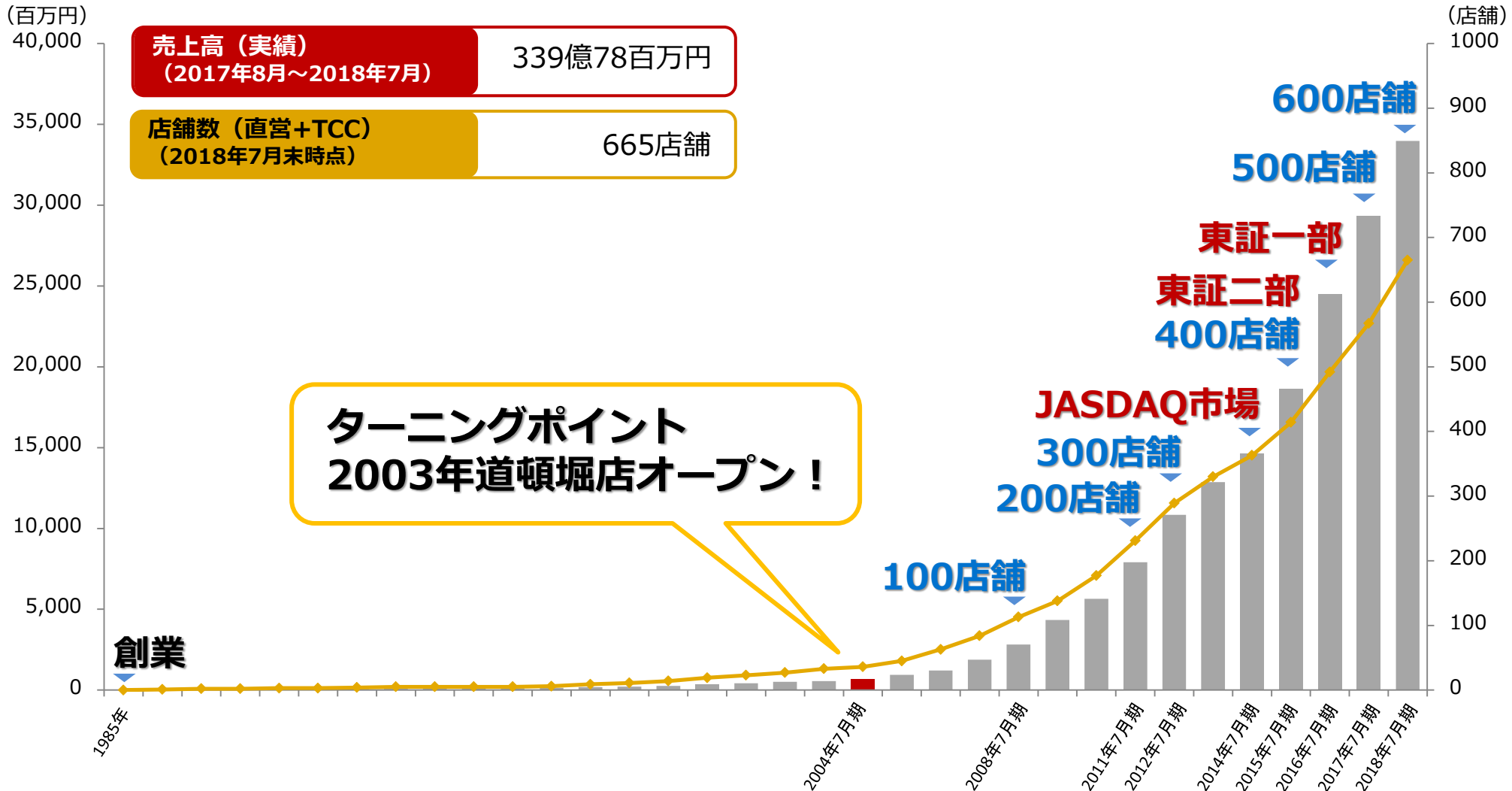
社名	株式会社 鳥貴族
設立	1986年9月19日
上場市場	東証一部（証券コード：3193）
本社	大阪市浪速区立葉1-2-12
代表者	代表取締役社長 大倉 忠司
資本金	1,491,829千円（2018年7月末現在）
店舗数	店舗数 665店舗（2018年7月末現在） ●直営 423店舗 ●TCC ^{*1} 242店舗
従業員数	従業員数 827名（2018年7月末現在） （外、平均臨時雇用者数 ^{*2} 3,691名）
事業所	●大阪本社・タレ製造工場 ●東京事務所 ●名古屋事務所 ●浜松事務所



*1 当社では、一般的なフランチャイズチェーンよりも強固なビジネスパートナーとしての関係性を確保することを目的として、限られた加盟店オーナーを「カムレード」と称しており、TCCは鳥貴族カムレードチェーンの略です。

*2 平均臨時雇用者数は、1日の労働時間を8時間で換算した年間平均の人数です。

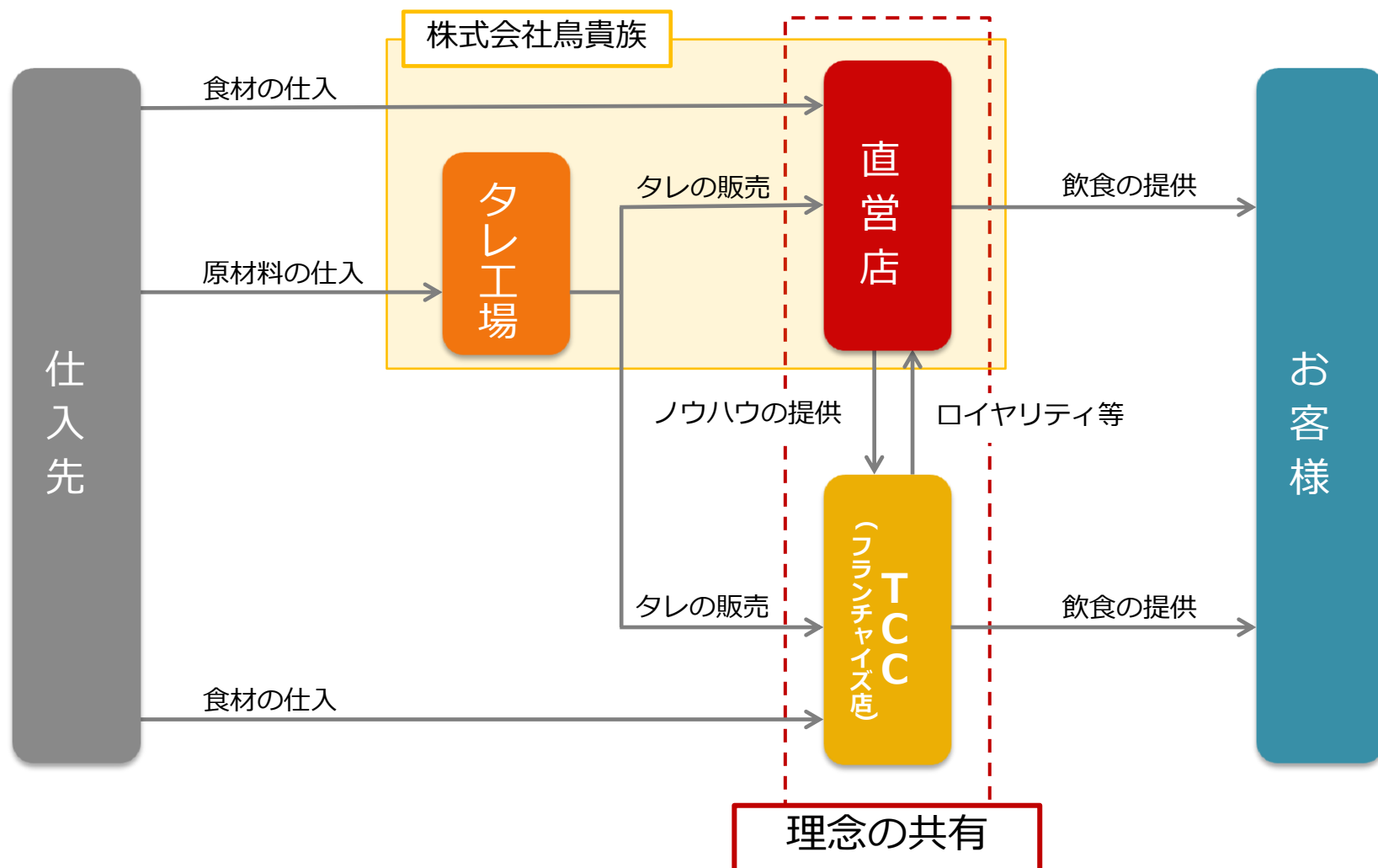
(参考) 沿革



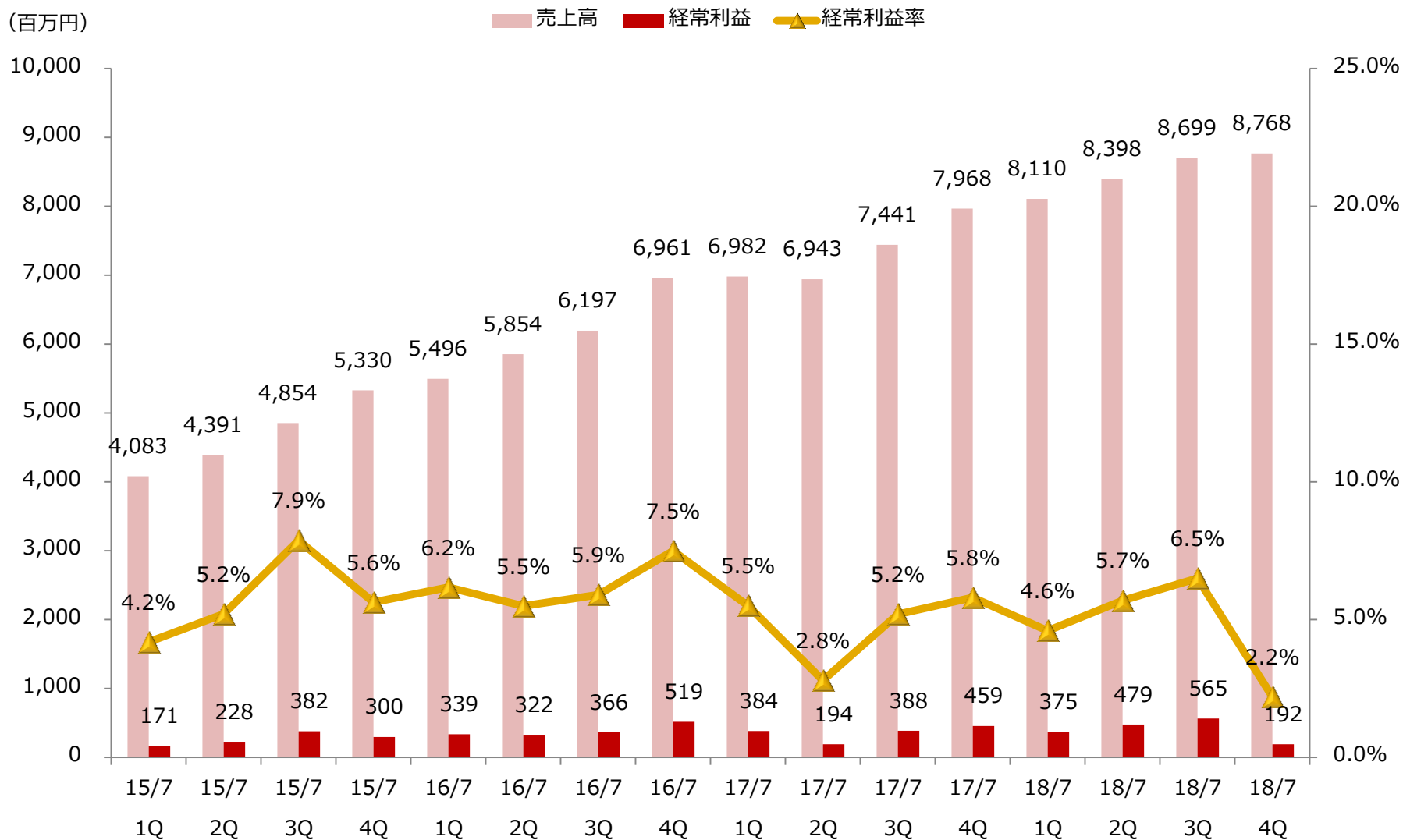
(参考) 事業系統図



タレ工場以外、セントラルキッチンを保有せず、各店舗で仕込み ⇒ 手作りの強み



(参考) 四半期業績の推移



注意事項



- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社鳥貴族(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものであり、当社株式の購入を勧誘するものではありません。
- 当資料に記載された内容は、発表日時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。
- その他の掲載内容に関しても細心の注意を払っておりますが、不可抗力により情報に誤りを生ずる可能性もありますのでご注意ください。
- 無断での複製又は転用等を行わないようお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社鳥貴族 IR担当

TEL 06-6562-5333

<https://www.torikizoku.co.jp/company/ir/contact/>